

荒川を考える葛飾区民会議

●開催日

平成24年9月19日(水)
午後2時00分から午後4時00分

●開催場所

・飾区役所7階706会議室

●出席者

18名(全構成員:22名)

●主な議題

承認

1)第5回議事概要(案)について
討議

1)秋の荒川クリーン作戦について

2)現地見学会について

3)維持管理への区民の関わりについて

報告・確認

1)第35回荒川の将来を考える協議会について

2)次回開催日について

情報提供

1)綾瀬川における水辺環境調査の実施について

2)防災関連について



承認

P4. 葛飾「区」環境基本計画(区が抜けている)
自然環境分野「の」横断組織(のが抜けている)(行政委員)

上記を修正のうえ、第5回葛飾区民会議の議事概要(案)が承認されました。

討議

<主な質問・意見等> (○:質問・意見等、●:質問に対する回答)

1) 秋の荒川クリーン作戦について

- 資料2の説明。
各会場のキャプテンとスタッフを以下のとおりに決定しました。
 - 1) 堀切橋下流左岸首都高速6号線下付近河川敷
キャプテン：西川委員 スタッフ：黒川議長、岡田委員
 - 2) 四つ木橋下流左岸河川敷
キャプテン：関口副議長 スタッフ：町田委員、秋庭委員（区事務局）
- 同日にマラソン大会があり、何千人と人が来るので、特に各自注意をお願いします。（議長）

2) 現地見学会について

- 資料3の説明。
現地見学場所を決めたい。①案（下流部）と②案（上流部）を用意したが、どちらがよいか。（区事務局）
- 船でどこに行きたいか、ご意見はあるか。（議長）
- 私は両コースとも経験したが、「ああ、こんな所にこんなものがあったんだ」というのが①のロックゲートである。防災関係の方と見学会に行ったときに、驚きの声があがった。（副議長）
- ロックゲートは良い。何度行ってもびっくりする。（議長）
- もっと下流には行けないか。例えば海と合流する辺りまでなど。（一般委員）
- 当日の波の影響によりどこまで行けるかわからないが検討する。（荒下事務局）
- 荒川の0km地点や、埋立て前の河口が説明できると面白い。（議長）
- その辺りまでなら問題ない。（荒下事務局）
- ①案（下流部）で検討する。（区事務局）

3) 維持管理への区民の関わりについて

- 資料4、資料5、資料6の説明。（区事務局）
- クリーンエイドで事故等が起こった場合はどこが責任をとるのか。（議長）
- 基本的には自己責任である。ただし怪我等された場合は、ボランティア保険から保険金が支給される。（区事務局）
- ちょっとボランティアはそこまでイベント化したものではなく、例えば車椅子の方がいたら押してあげるとか、ちょっとした活動であり、保険に入るとか、そこまでのものではない。組織についても、ちょっとした活動なので支援する組織は必要ない。具体例をあげて、何かそういうことをしませんか、とPRすればよいと思う。自己責任ですとうたっておけばよい。怪我するようなことではない。（一般委員）
- 折角話題に出たのだから、何とか形にしたい。（議長）
- 「すぐやる課」のような組織を作れば面白いのではないか。（一般委員）
- ボランティアセンターにて情報収集、発信を行ってる。個人の方がボランティアを実施する場合、来ていただければ情報が得られ、参加できるという制度がある。（区事務局）
- ちょっとボランティアとは小さな親切、思いやりである。（一般委員）
- 何を作るではなく、こういう意見が出たのだから、発信していきたい。また次回に持ち越して、よりよくするよう検討したい。（議長）

報告・確認

1) 第35回荒川の将来を考える協議会について

- 8月8日に開催した第35回荒川の将来を考える協議会の報告。
各市区の地区別計画の発表があり、承認されました。葛飾区版についてもこの場で承認されました。議事の内容などについてホームページで確認できるようにします。(荒下事務局)

2) 次回開催日について

- 平成25年1月23日(水)14時～予定。(区事務局)

情報提供

1) 綾瀬川における水辺環境調査の実施について

- 資料7の説明。(行政委員)

2) 防災関連について

- 開催案内の返信において次の2点について質問があったことを受け、このことについて荒下事務局が説明を行いました。
 - ・ 荒川河川の災害について内閣府で学識経験者を交えた討議の情報提供をして欲しい。
→資料8及び荒下発行のBCPにより、大規模水害対策について説明。
 - ・ 直下型地震がくると予想されている中、荒川の土堤について国交省はどのような対策をとろうとしているのか。
→平成24年度事業概要の主要事業を説明。(荒下事務局)
- 堀切菖蒲水門の倉庫か何か入っているか。
そこに防災の資材を置いてはどうか。ゴムボートとか仮設トイレとか。(議長)
- 現在は一般的な倉庫として使っている。防災関係の物はない。(荒下事務局)
- 防災ステーションは赤羽にあり遠いので、どこかサブ的な場所があった方がよいので、堀切菖蒲水門を利用できないか。(一般委員)
- 持ち帰って検討する。(荒下事務局)
- 堤防の75%が整備不足、水の浸透で決壊の恐れとあるとの新聞報道があったが、実際はどうか。(一般委員)
- 浸透対策がされていない部分が75%ではなく、強度や高さなども含め、全体的にみて対策が必要な部分が75%ということである。(荒下事務局)

その他報告

- 秋のクリーンエイドに、以前から依頼していた区長の来場が実現した。9時に中川中学校に直接来ていただき、子供達を激励していただくことになった。(副議長)

次回の会議(第8期 第7回)は平成25年
1月23日(水)14:00より開催予定です。

連絡先：
荒川を考える葛飾民会議事務局
TEL：03-5654-8372